

皆さんの質問にお答えします～中学部編②～

今回は、中学部の保護者の皆様からいただいた質問等にお答えする2回目です。紙面ですので質問した方への個別・具体的回答にはなっておりません。文字数が多くてすみません m(_ _)m

Q. 毎日同じミスをします。自分の身の回りのことで、できないことが多いので、改善されていくのか心配と不安があります。

大丈夫です。ただ、身につけるためにはしっかり取り組むことが大切。まずは“できない”状況をしっかり分解して、“何が・どう・できないのか”“いつも・時々？”“どこで？”等、考えてみましょう。具体的な内容が分かりませんので申し訳ありませんが、できないことをできるようにするためには、段階を踏む必要があります(スモールステップ)。

普段、声かけ(指示、叱る等)だけで終わっていないでしょうか。

手間はかかりますが、どうしてもできるようになってほしいことは、一緒にやる⇒手を添えてやる⇒写真をみせてやる、タイマーセットし気づかせる、手順を書いて順番にやらせる、指示を録音して何度も聞けるようにする、スマホ、タブレットを活用する等・・・様々なやり方があります。具体的な方法は、まず担任に相談してみてください。よいアドバイスがもらえます！

最後に、中学生ですが、できたら(もう少しでできるときも、やろうとしただけでも)たくさんほめて、ほめて、認めていきましょう。

📌ポイント！ 声かけ(言葉)は一瞬で消えます！本人が体や目でも確認できる支援を！

Q. オリンパス、ラグノオささき、スーパーマーケットでどんな内容の仕事をしているのか。

Q. 手先が器用なのでどのような仕事が向いているのか。

オリンパスサポートメイトは特例子会社で、本校からは3人の卒業生が入社しています。社内の清掃を中心に1日7時間以上働いています。正社員として採用されていますので、ボーナス、厚生年金、健康保険もあります。PC、事務系会社でも清掃業務を担当することは多いです。

ラグノオささき等の食品関係の会社では、製造の一部、検品、包装、箱詰め等の作業を、ラインに入って従業員と一緒にいきます。4～7時間、本人の状況に合わせて時間調整し働いています。ただ、調理実習とは違い、ケーキやお菓子が自由に作れるわけではありません。

食品加工会社では、リンゴの検品、皮むき、カット、山菜の箱詰め等の仕事を従業員と一緒にいきます。包丁や皮むきを使うこともあります。普段から慣れておくとうれしいでしょう。

スーパーマーケットでは、食品の計量、パック詰め、品出し(陳列)等の作業を従業員と一緒にいきます。包丁を使って傷んだ部分をカットしたり、切り分けたりする仕事を任される場合もあります。スーパー内の寒さに強いことも必要です。

電子部品の会社で組立等を担当する人もいます。細かな部品を組み立てたり、同じ数で部品を詰めたり、仕分けたりといった作業をしています。

会社で働く場合には、全て立ち仕事ですから気力も体力も必要です。バックヤードの仕事であっても、従業員の方々とのコミュニケーション力は必須です。休み時間の会話も大切ですが、楽しい会話も敬語で話せるようにしておきましょう。

自由時間だからと、スマホでゲームや動画で過ごし周りとお話をしないしていると…、次第に職



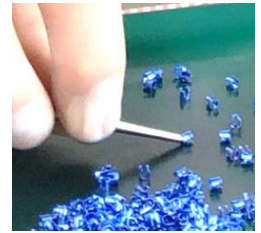
場で疎外感を感じるようになり、結局離職するパターンにハマります(多数いました)。

周りの従業員からの指示や注意を素直に聞いて直せる、誰も見ていなくとも手を抜かずにやる、周りの人と仲良くなっても敬語で話す、が大切です。

まずは、中学部での作業学習や校内実習(5日間)をしっかりと行えるようになり、挨拶や返事、報告等のコミュニケーション力を付け、高等部に進学していただけると、その先の選択肢も広がっていくと思います。

一般就労希望なら、自力通勤は当たり前。保護者送迎や放課後等デイサービス利用を継続しては困難です。自力で登下校、一人で外出、一人で過ごせるようにしましょう。

最後に、**手先の器用さについて**ですが、まずは本人がどれくらい仕事場面で器用に作業できるのかです。仕事として継続できることは、遊びとは違う場合もあります。写真は実習での様子です。こういった作業を長時間できるかどうか。まずは高等部入学後の6月。校内実習に10日間しっかりと取り組む中で、手先の器用さがどの程度なのか、どれくらい継続できるのか等を正確に確認し、卒業生の進路データと比較しながら、実習先や進路先を検討していくことになります。



B型での実習より

📌ポイント！ まず中学部の学習をしっかり！そして、登下校や放課後の自立！清潔・生活リズム・食生活も！

Q. 指示を聞いて動けるのか、集中力が長時間続くのか心配。そういった子が働くことは可能なのか。万が一、働けなかった場合に行くことができる施設等があるのか。

福祉サービスには種類があります。以下、働くという部分にスポットをあてて、ごくごく簡単に紹介します。サービスのイメージとして考えてください。

気になるサービスをスマホやPCで **“〇〇”とは** と検索してみてください。

まとめ解説

- ・生活を整える部分からスタートする“生活介護”
- ・働くための基礎となる力、生活する力を高める段階の“自立(生活)訓練”
- ・一人で働ける力が少しだけ～3時間くらい働ける“就労継続支援 B 型”
- ・4～5時間程度働けるようになると“就労継続支援A型”
- ・もう少しで就職できそうな人のトレーニングをする“就労移行支援”等

📌ポイント！ 福祉サービスはさまざまです。本人に合った進路はきっと見つかります！

Q. ダウン症の子供達はどんな進路に進んでいるのか。中学部から作業などの授業があるがきちんとできるのか。

ダウン症かどうかではなく、適性や進路希望から考えていきましょう。ただ、小学部から同じ生活パターンを繰り返し、今後に変えないなら、本人の社会性は広がっていかないでしょう。ずっと親がやってあげていたことを見直すと、一時的に親の負担は増えますが、きっと一人でできるようになります。成長しているのですから。

食品加工工場やクリーニング工場に就職したダウン症の卒業生もいました。A型やB型、生活介護の施設で仲良く明るく働いている卒業生もいます。全国には、一人暮らしして生活エンジョイ中の方がyoutubeで活躍しています(保護者研修会で紹介しました)。昔、勤務していた養護学校高等部でバスケットボールチームを結成し、東京のゆうあいピックという大会で優勝したこともありますよ！バスケ好きのダウン症生徒2名がメンバーでした♪



📌ポイント！ 日々、何にどう取り組んでいくか、積み重ねの成果が数年後に現れます。